



「全国学力・学習状況調査」の結果より

先日、5月に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。この調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、児童の学力や学習状況を把握・分析し、今後の指導方法や生活習慣・学習環境の改善に役立てることを目的として行われています。本校の6年児童も、教科に関する調査(国語、算数)と質問紙調査(学習状況、生活状況)に取り組みました。本校児童の全体的な傾向から、今後の取組についてお知らせいたします。

なお、調査結果から見える、国語、算数および学習状況、生活状況の強み(○)と弱み(△)をお知らせします。さらに、弱みについては、改善策(→)を示しています。

教科に関する調査(国語、算数)

○国語、算数の平均正答率は、2教科とも全国(公立)平均、県平均よりも高い。

○無解答率が低く、最後まで粘り強く考える力がついている。

【国語】

○言葉の特徴や使い方の知識が身についている。特に、漢字をよく理解している。

○与えられた条件のもと、自分の思いや考えを文章に表そうとする意欲が高い。

△「読むこと」に関して課題がある。特に、文章の内容を要約する力が弱い。

→自分で本を読む習慣づくりのため、学校および家庭での読書活動をさらに充実させる。

→目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する指導を充実させる。

△「伝えること」に関して課題がある。

→目的や意図、相手に応じて、自分の考えや理由をもとに、構成を工夫し伝える指導を充実させる。

【算数】

○「測定」、「変化と関係」の領域で正答率が高く、速さの概念はおおよそ理解できている。

○「図形」の性質を理解し、その性質をもとに工夫して面積の求め方を考えることができる。

○グラフやデータを読み取ったり、整理したりすることができる。

△グラフやデータの特徴をもとに、それを活用する力に課題がある。

→新聞を利用するなどして、様々な情報から必要な内容を読み取ったり、情報を組み合わせて結論を導いたりする指導を充実させる。



質問紙調査(学習状況、生活状況)

- 「朝食を毎日食べている」97%、「毎日、同じくらいの時間に寝ている」89%。国・県よりも高い。
- 「自分にはよいところがある」84%、「将来の夢や目標を持っている」86%。国・県よりも高い。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」56.6%。年々上昇している。
- 「平日、学校の授業時間以外に勉強している時間が1時間以上」58.3%、「休日に勉強している時間が1時間以上」29.2%。例年に比べ、家庭学習の時間は伸びている。国・県とは同程度である。一方で、30分より少ない児童が10%以上いる。
- 「国語の授業の内容がよく分かる」85%、「算数の授業がよく分かる」91.7%。例年に比べ、大きく伸びている。国・県よりも高い。
- △「平日、ゲームやスマートフォンに使っている時間」2時間以上41.6%。例年に比べ、かなり増加している。4時間以上の児童が12.5%いる。
- 有効な時間の使い方や約束について各家庭で話し合う。
- △「平日、読書をする時間が30分以上」32.6%。国・県よりも低い。
- 学校および家庭での読書活動をさらに充実させる。
- △「5年生までの授業で、ICT機器を週1回以上使用した」34.2%。国・県よりも低い。
- 昨年度、全児童にタブレット端末が整備された。タブレット端末が日常的に使う文房具の1つとなるよう、積極的に活用し、効果的な活用方法を蓄積していく。
- △「学級生活をよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めている」67.5%。国・県よりも低い。
- 学級会や特別活動(委員会活動、クラブ活動等)で、学級や学校の課題を児童自らが考えたり、自分たちで行事を計画・実行したりする活動を主とする。



今後の取組について

- ・上記の課題および改善策を全職員で共有し、学習指導の方法や生活習慣・学習環境の改善に向けた取り組みを進めます。
- ・本校では昨年度3学期から、学習内容が高度化する高学年(5・6年)の授業において、より専門性の高くきめ細やかな指導、中学校への円滑な移行を目指し、各教科によって担当教員が異なる「教科担任制」により授業を進めています。今回の調査結果より、授業理解や家庭学習の面で取組の成果が見られます。今後も引き続き、「教科担任制」の仕組みを生かしつつ、授業の質を高めていきます。同時に、自主学習の充実を含む家庭学習のあり方についても検討していきます。
- ・今月の「八小だより」で、全職員で研究に取り組んでいる「読み解く力」についてお知らせしました。「読み解く力」の育成においては、文章や図・グラフなどの情報、人との会話(言葉・しぐさ・表情)から、自分の考えを磨きあげていく授業を目指しています。今回の調査結果からも、情報や会話をもとに築いた自らの考えを、相手に伝えることに弱みがありました。引き続き、「読み解く力」を育成するための授業改善を進めていきます。ご家庭でも、いつもそばに読みかけの本を置いておくことや、授業や宿題の中身を話題にし、子どもが内容を振り返ることを通して、「読み解く力」が育成できるようご協力ください。(詳細は、八小だよりでご確認ください)

